

医師調査データから読み解く、 日本の医療市場

～最新データから診療構造の変化、治療上の課題まで～

医師への大規模アンケート調査による最新データや
経年データ、医師の自由回答データをもとに、
PatientsMapから見てくる日本の医療市場を
多角的に解説します。

参加無料
(事前登録料)

2026年
9月30日 水 | 14:00～15:45 (予定) | オンライン開催 (Zoomウェビナー)

共催：株式会社社会情報サービス / エムスリー株式会社

PatientsMapの3つの講演

01

PatientsMap2026JPで読み解く、 日本の医療市場

－患者数・診療医師・新薬ニーズから見る
PatientsMapのデータ－

15年の実績を誇る『PatientsMap日本版』2026年
最新データの概要と活用方法を解説。2万人超の
医師パネルによるリアルな活用方法を紹介します。



02

日本の診療構造は、 これまでどう変わってきたのか？

－PatientsMapの経年データから読み解く、
診療状況の変化－

同じ調査設計で継続してきたPatientsMapの
経年データから日本の診療状況の変化を読み解きます。
疾患を診療する医師や診療科の構成など、
単年のデータだけでは見えにくい変化をご紹介します。



03

医師の声を聞いて 患者さんの困りごとをみつけましょう

医師の生の声から、疾患ごとの新薬ニーズや
既存治療への不満などを横断的に比較し、
注目すべき疾患領域を探索する分析ツールの
アップデート情報をご紹介します。



特別講演

「なるほど！」が、 薬の価値を進化させる

「見えている変化の、その先に何がありますか？」

患者さんや医療現場の変化を捉えるだけでなく、「何が変
わったか」から「なぜ変わったのか」「その変化は何を意
味するのか」まで掘り下げることによって、初めて新たな気づき
が生まれます。

その「なるほど！」を起点に、インサイトを生成し、意思
決定を進めていく。インサイトは、集めるものではなく、
問い、考え、つなぐことで生成するものです。

本講演では、インサイトがパラダイムシフトを加速し、
くすりの価値を進化させるための視点を、開発から製品戦
略、マーケティング、営業まで、部門を超えて考えます。

情報を集めるだけで終わらず、インサイトを生成し、
患者さんにとってのくすりの価値を進化させるためのヒン
トをお届けします。



講師

芹生卓氏

一般社団法人医薬品開発能力促進機構(DDCP) 代表理事
医師・医学博士
APCER Life Sciences 取締役会シニアアドバイザー
株式会社セリウメディカルコンサルティング 代表取締役

このような方におすすめです

- ✓ 疾患別の患者数や診療医師数を把握したい方
- ✓ 日本の医療市場や診療構造の変化を捉えたい方
- ✓ 疾患ごとの市場性や新薬ニーズを把握したい方
- ✓ 医師が感じている治療上の課題を把握したい方
- ✓ 医師調査データをマーケティングや市場調査に活用したい方

開催概要

開催日時	2026年9月30日(水) 14:00-15:45 (予定)
開催方法	オンライン (Zoomウェビナー)
参加費用	無料 (事前登録制)
共催	株式会社社会情報サービス / エムスリー株式会社



お申込み・詳細はこちら ▶▶▶

<https://x.gd/vLzvQK>



PatientsMapとは？

PatientsMapは、医師へのアンケート調査を通じて、疾患別の患者数・診療医師・新薬ニーズなどが把握できるデータベースです。
大規模サンプルと幅広い疾患を対象に、疾患ごとの患者数規模や診療構造、医師のアンメットニーズを捉えることができます。

お問い合わせ先：株式会社社会情報サービス：patientsmap@ssri.com